

一球通信 vol.129

*****コンテンツ*****

- 1.総会レポート(昭和 52 年卒高橋様より)
- 2.新主将挨拶
- 3.法政大合同練習レポート(3 年田坂)
- 4.広島商業高校合同合宿レポート(1 年栗)
- 5.OB 便り(平成 14 年卒荻田様より)
- 6.不動産分科会の活動報告(昭和 51 年卒飯島様より)

1.総会レポート(昭和 52 年卒高橋様より)

12/3(日)に如水会館にて、平成 29 年度下半期一球会総会が執り行われました。現役部員に加え、OB・OG 様 10 名に出席いただきました。お集まりいただきました皆様には感謝申し上げます。当日の様子を懇親会の司会を務められた高橋雅和様にまとめていただきましたのでご覧ください。

OB 総会に出席して

S52 卒高橋雅和

12 月 3 日如水会館で開催されました一球会秋季総会には、S34 卒の中込様、S35 卒の久木田様を始め、幅広い年代の OB10 名が出席し、鈴木監督のお話し・決算、予算案の説明と承認・新体制の抱負などをうかがいました。

OB 総会は毎回出席者が決まっておりますので、忙しい折と推察しますが、同年代で誘い合わせて、顔を見せていただければこれから先の野球部支援活動につながるものと思っております。

■会費の徴収については、マネージャーを中心としたきめ細かい対策が功を奏して目標通りの成果を上げることができました。

また、設備助成の寄付金についても多くの賛同をいただき、内野を中心としたグラウンド整備ができましたとの報告がありました。

グラウンドの整備は、凹凸ならしと排水改良で 3 年に 1 回を目処に行いたいとの要望も出ており、財源との戦いはずっと続きますが、選手のケガ予防・課題の守備力向上には大切です。

昔はそんなに工事などしていないと思う OB (私も含め) もたくさんいらっしゃると思いますが、定期メンテが不十分のため、土が硬くなったり、砂が大量に交じったり等が何十年をかけて噴出したのかなと改めて思った次第です。

■3 季続けての 3 部リーグ戦を実現していただいた 4 年生の皆さん、本当にお疲れ様でした、ありがとうございます。

4 年間 7 回も神宮を経験したそうですが、この秋は残留というプレッシャーの中で、全員が役割を全うし、見事な同期の絆でチームを引っ張っていたことが見ていて分かりました。



■平成最後となるであろう新しいカラーのチームの応援ももうすぐ始まります。

↓大崎主将を始めとした新幹部の皆さん



2.新主将挨拶

秋季総会にて新チーム幹部が承認されました。

新主将に就任した大崎(3年・内野手)に挨拶をいただきました。

本年度、主将を務めさせていただくことになりました、3年の大崎光一朗です。よろしくお願いいたします。

新チームが始動してから1ヶ月弱が経ちますが、最高学年になり、また、私は主将という立場になり、今まで見えていなかった部分が見えるようになってきました。以前は正直に言って自分のことしか見えていませんでした。他人がどうしようと、それはあまり見えておらず、自分のことだけやっていました。周りに対して積極的に物を言ったり、働きかけをしたりすることが少なかったのです。しかし新チームから最高学年、主将という立場になり、チーム全員を前よりも見るようになり、チームとして足りないところ、改善しなければならないところ、そういったことがよく見えるようになりました。特に下級生には、練習中に周りが見えていないと感じる人もまだ多いと感じます。ただ、以前の私も、今考えるとチームの一員としての自覚が足りず、先輩方からそう見えていたことがあるのだと思います。また、今のチームは選手間の仲は良いのですが野球をしている時の厳しさが以前のチームよりも足りないです。これは主将である私が性格的に厳しいことを言えていないことも原因だと感じています。主将として、チームが強くなるためには時には嫌われ役を買って出なければならぬのだと思います。そうした覚悟をもって、これから一年間取り組んでいきたいと思っています。そして、最終的には、チーム全員が自覚を持って、周りが見えて、自分からやるべきことをきちっとでき、そのうえで、様々なことを学年を問わずに言い合えて高め合っている、組織として強いチームを作れるように、皆で協力して頑張っていきたいと思っています。

過去の先輩方の中には、4年生になったら最高学年としての責任を感じてのびのびプレーできない、という旨のことをおっしゃっていた方もいらっしゃいました。チームの中心となることは想像以上にきついことなのだと思います。そのような中でも、チームの勝ちに貢献できるよう、プレーヤーとしても良い働きができるよう努力していきたいと思っています。

一年間よろしくお願いいたします。

3.法政大合同練習レポート(3年田坂)

金光様のご紹介があり、12/9,10,16,17の4日間にわたり、投手3名(3年田坂・川村、2年木下)が法政大の練習に参加させていただきました。

普段とは違った方法・視点での練習に参加者は刺激を受けたようです。

その際の様子を田坂がレポート致しましたのでご覧くださいませ。

12月9日10日16日17日の4日間、3年田坂、川村、2年木下の3人で法政大学の練習に参加させて頂きました。

練習内容としては、午前中はアップ、キャッチボール、ピッチング、ネットスロー等、技術練習が中心でした。昼食を挟み、午後は法政の投手陣の方と一緒にランメニューやトレーニングを行いました。

ピッチング練習では、真木さんという法政の投手コーチの方に一人ずつ見てもらい、課題を指摘して頂きました。自分はリリースの時に体が開いてしまうことを指摘され、足を上げる時のバランスの取り方や、内ももの締め方などを教えていただきました。3人ともまだまだ直すところはたくさんあるのでこれからの練習でしっかりフォームを固めていきたいと思えます。

午後のランメニューはとにかくきつくて、特に400m走を5本全力で走るメニューが大変でした。自分たちの練習でいかに走り込みが足りていなかったかを実感しました。その他にも体幹メニューであったり、下半身強化メニューも教えてもらったので、今後の練習に取り入れていきたいと思えます。

今回、法政大学の練習に参加させていただいたことは、とても有意義で、貴重な経験となりました。練習の雰囲気や選手たちの一球一球に対する姿勢などは自分たちも学ばなければいけないなと感じました。今回学んだことをこれからの練習に活かしていきたいと思えます。

4.広島商業高校合同合宿レポート(1年粟)

今年度の広島商業高校との合同合宿が、12/22~28の7日間の日程で現在行われております。その様子を1年粟に簡単にレポートしてもらいましたのでご覧ください。

12月22日に広島へ移動し、23日から広島商業高校と合同練習を行っております。
広島商業高校では、練習メニューを自ら考えており、主体性を持って練習に取り組んでいます。

23日の練習初日は各ポジションに分かれてノックを受け、午後からは打撃練習を行った後、トレーニングメニューに取り組みました。練習後には、代表者3名が学習への取り組み方や、どのように一橋大学合格という目標を達成したかという内容で講演を行いました。

2日目の午後には広商と練習試合を行いました。結果は6-5で勝ちましたが多くの課題が見つかりました。

今年の広商は守り勝つ野球を目指しており、目指すチーム像は一橋と共通しております。今回の練習試合で見た課題を練習最終日までになんとかなくせるように残りの練習に取り組むしたいと思います。



5.OB 便り(平成 14 年卒荻田様より)

平成 14 年卒の荻田です。OB 便りの執筆依頼をいただきましたので、簡単に大学以降の野球を通じて感じたことについて書いてみたいと思います。

私は平成 10 年に一橋大学に入学し野球部に入部しました。まず簡単に在籍中のチームの成績を振り返ると、入部した時にはすでに 3 部に所属しており、その年の秋季リーグでは 3 部優勝を果たしました。そのシーズンで最優秀防御率を獲得した 4 年生の佐藤規夫さんをはじめ、MVP を獲得した同期の斎藤など当時は個の能力に秀でた選手が多く在籍しており、その選手たちが 1 つ 2 つと勝ち点を挙げていく中でチームはどんどん勢いに乗り、ついには 3 部の頂点に輝きました。

その喜びも束の間、翌年の平成 11 年春季リーグでは最下位に沈んだうえ入れ替え戦にも敗北し、4 部に降格。しかし、秋季リーグでは 4 部優勝。入れ替え戦にも勝利して 3 部復帰。その後平成 12・13 年シーズンは 3 部を維持して引退しました。

私はそういったチームの中で 2 年生からは外野手のレギュラーとして試合に出ていましたが、4 年間を通じて思っていたことは「上手くならないなあ」ということです。高校時代と同様に、より打球を飛ばし、より速い球を投げ、より速く走ることを目指してやっていましたが、結果は出ませんでした。

一方で平成 14 年に卒業後、平成 17 年から在籍したクラブチームでは「成長したなあ」と思えることが多少ありました。例えば外野からの送球時にステップを少なく、モーションを小さくしたことなどがそうですが、簡単に言えばそれまでとは違う努力をするようになったということです。例えば外野手が 2 塁ランナーをホームで刺すということは、ピッチャーがモーションを開始してからキャッチャーがランナーにタッチするまでの時間を短くするということです。そのための手段は、「定位置」と呼ばれている位置より前で守ることで捕球するまでの時間を短くすること、前述したように捕球してから送球するまでの時間を短くすること、キャッチャーのタッチしやすいところに投げることでタッチまでの時間を短くすること、それ以外にもいろいろな手段があり、本来はそれぞれの手段について向上を図るべきです。しかし、大学時代の私はその中で、送球のスピードを速くするというのにしか目を向けていませんでした。ただ、それは大学以前にも散々努力した部分ですのでそれ以上の成果は出にくく、他の手段に比べて期待される効果が乏しいものでした。つまり、力を置くべきでない努力だったと言えます。目的から考えればいろいろな手段があるのに、1 つの手段に固執した、というか他の手段に目がいかなかったということが大学時代の「上手くならなかった」原因だったと思っています。

野球は 9 回が終わった時点で相手より 1 点多く取っていればいいルールです。そこから考えれば、それを実現するための手段は無数にあります。特にそれまで取り組んでいなかったことは、取り組んできたことに比べて成果が出やすく、取り組む価値のあることだと思います。これまでと同じ努力の延長線上にある「上手くなる」ということは難しくても、新しいことに挑戦し、「成長する」ことはできるかもしれません。また、その方がチームの勝利につながるでしょう。

安易に引き受けてはみたものの、いざ書いてみると書きたいことがまとまらず、だらだらとした文章になってしまいました。大変失礼致しました。

現役の皆さんの来年の活躍を期待しております。OB 戦にはまた顔を出すかと思っておりますので、その時はよろしくお願ひします。

平成 14 年卒 荻田浩文

6.不動産分科会の活動報告(昭和 51 年卒飯島様より)

一球会不動産分科会のご報告 (S51 年卒・飯島)

12 月 7 日 (木)、野球部の O B O G で不動産関係企業に携わったメンバーの交流会「不動産分科会」が恒例の歌舞伎町新光ビルで開催されましたので報告致します。

この分科会は、発起人の新さん (S54 年) が福田さん (H15 年) とともに不動産関連企業に勤める O B に声をかけて 10 年程前に始まりました。会長の吉田さん (S47 年) の人徳と新さん福田さんのフォローにより年 1 回程度で恒例化しており、美味しいお酒を飲みながら現役時代の自慢話やエピソード、広商との交流話で盛り上ります。不動産関係の情報交換や人脈作りが狙いの会ですが、野球好きが集まれば野球談議に花が咲きます。

今回も下記の 11 人が出席して今年のリーグ戦入替戦の戦況や、丁度朝日新聞で連載中の 48 年の広商の甲子園での活躍 (春準優勝江川攻略の金光三盗、夏優勝静岡戦のサヨナラスクイズ) など年長者が昔話を熱弁し若手が聞くいつもの構図で 3 時間を超える忘年会となりました。

◆12/7 参加者（敬称略）（卒業年次・主な勤務先）（不：不動産）

- ・吉田裕（S47年、東急不）
- ・飯島富士夫（S51年、旭化成）
- ・新悟（S54年、丸紅、新光産業）
- ・坂本雅昭（S56年、興銀）
- ・鈴木利幸（S61年、リクルートコスモス）
- ・谷口哲樹（H6年、東急不）
- ・福田法文（H15年、三井不）
- ・九野和也（H18年、三井不）
- ・山口耕平（H25年、三菱地所）
- ・森永翔（H26年、野村不）
- ・宮本祐花（H29年、三井不）



◆最後に

不動産分科会は不動産に関連した企業に携わった人の交流会ですが、入会希望者は誰でもOKです。不動産（住宅・建設なども）に関連する仕事をしているOBOGと一緒に飲みたい人は上記のメンバーに連絡下さい。年代を超えての交流は一球会ならではの活動で野球部への帰属意識も一層深まります。ご一報お待ちしております。

以上

最後までお読みいただきまして有難うございました。

今後とも野球部への温かいご指導・ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

一橋大学硬式野球部

二年マネージャー渡辺佳奈

一橋大学硬式野球部公式ホームページはこちら↓

<http://jfn.josuikai.net/circles/sports/hit-u-bbc/>

OB・OG様専用ページパスワード：**hitbbc-obog**

↓ご意見・ご要望・配信停止等のご連絡等はこちらまで↓

hit.u.bbc.mg@gmail.com